学校番号	３１９

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「精選言語文化」　（東京書籍）						
副教材等	プレミアムカラー　国語便覧（数研出版） わかる・読める・解ける　Key&Point　古文単語３３０（いいずな書店） 高校生の古典文法（啓隆社） 高校生の古典文法　演習編（啓隆社） 重要な句法と語彙を学ぶ精選漢文（尚文出版） 基本の整理精選漢文基本練習ノート（尚文出版） グランステップ１　古典（古文・漢文）（尚文出版） グランステップ２　古典（古文・漢文）（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・言語文化では、漢文・古文・近現代文学といった多様な文章を扱います。
・漢文・古文においては、文法や句法、語彙などの基礎的なことから学習します。予習と復習を確実におこない、知識を定着させましょう。忍耐強い反復学習が大切です。
・近代文学等においては、深く共感したり豊かに想像したりして読み取ることが必要です。様々な文章に触れる中で、語彙や表現の工夫などについて学びましょう。
・定期テストや小テスト、日々の課題の提出に向け、学習計画をしっかり立てて取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会生活に必要な知識と技能を見つけ、我が国の言語文化に対する理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的な思考力、創造力や想像力を伸ばし、自分の考えや思いを言葉にして伝える。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的に他者や社会と関わり、学んだことを進んで使おうとする。

３　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 　また、礼節を重んじ、約束や時間を守り、相互理解を深め、より良い学習環境作りに積極的にかかわるようにしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	古典を読むために必要な知識を習得し、本文内容を読み取る ［教材］説話『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な歴史的仮名遣いや品詞の種類について理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	古典を読むために必要な知識を習得し、本文内容を読み取る ［教材］説話『宇治拾遺物語』「絵仏師良秀」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な動詞の活用などについて理解している。 b［ 読 ］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：人々が説話を伝えようとした理由を粘り強く分析し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	作品の内容や登場人物の心情について読み取り、表現や展開についての自分の考えをまとめる。 ［教材］「羅生門」	a:作品中の比喩などの表現について理解している。 b:［ 書 ］結末部分の書き換えによる印象の変化とその後の展開についての自分の考えを、構成や表現を工夫して文章にしている。 c: 積極的に自らの作品世界を構築し、自分の考えを文章にしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	文章の構成や展開の仕方について理解する ［教材］歌物語『伊勢物語』「筒井筒」	a： 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な形容詞・形容動詞の活用などについて理解している。 b［ 読 ］： 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c： 粘り強く第一段落と第二段落の関係性を見極め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	それぞれの歌に込められた心情を読み取る ［教材］歌物語『伊勢物語』「東下り」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な助動詞についての知識を習得している。 b［ 読 ］:それぞれの歌について、作品が成立したころの習慣や常識を踏まえて心情を読み取っている。 c：本文理解に進んで取り組み、粘り強く心情を読み取ろうとしている。	ノート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	特徴的な表現について考察し、自分の考えを持つ 教材］詩「小景異情」「I was born」	a： 我が国の言語文化に特徴的な表現やそれらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］： 作品中の表現について分析し、その解釈について自分の考えをもつことができている。 c：表現について分析して自分の考えを持ち、他者と意見交換を行おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート

後期	我が国と外国の言語文化の特質や関係について理解し、作品内容の解釈を深める ［教材］漢文入門：訓読の基本 「矛盾」「推敲」「塞翁馬」	a：漢文を書き下すために必要なきまりを理解し、使うことができる。 b:[読]作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:故事成語の用例調査において、粘り強く取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	上人の失敗の原因について本文から探し出し、話し合う ［教材］随筆『徒然草』 「丹波に出雲といふ所あり」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解し、活用することができる。 b[読]： 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から粘り強く探し出そうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	振り返りシート
	電車にひかれそこない、命を得た作者が、木野崎で療養する間の「生と死」にたいする感覚、心境を読み取り、自分の生と重ね合わせる。 ［教材］小説 「城崎にて」	a：筆者の特有の表現に込められた心情について理解している。 b[書]： 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、それを踏まえた自分の考えをまとめることができる。 c： 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	古典常識の理解を深め、本文内容や展開を的確に捉える。 ［教材］日記『土佐日記』 「馬のはなむけ」「帰京」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な助詞の種類や役割について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や展開、言葉遊びなどの表現について叙述を基に的確に捉えている。 c：旧暦や古時刻、旧国名といった古典常識について積極的に調べ、理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	漢文入門で習得した知識や作品の背景を踏まえ、内容を解釈する ［教材］史伝『十八史略』 「臥薪嘗胆」	a：抑揚・反語の句法について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景やこれまでに習得した知識を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで作品内容を解釈し、古典の内容を楽しもうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	振り返りシート
	古典の和歌の修辞や表現から、情景・心情を読み取る。 ［教材］和歌『万葉集』・『古今和歌集』・『新古今和歌集』	a： 和歌の修辞について理解している。 b[読]：和歌から読み取った情景や心情、表現の工夫のよさや味わいを吟味している。 c： 和歌の情景や心情を粘り強く読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート
	文化の関係や背景を踏まえて漢詩を味わう ［教材］漢詩 「送元二使安西」「涼州詞」「黄鶴楼送孟浩然之広陵」	a： 漢詩の形式や規則について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：漢詩らしい表現や語句について興味をもち、進んで理解しようとしている。	ノート 定期考査	ノート 定期考査	ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　５　　）時間
・書くこと　…　（　１５　）時間
・読むこと（古典）　…　（　５５　）時間
・読むこと（近代以降）…　（　３０　）時間